

【支部総会報告】

2025年 長崎・佐賀支部総会・情報交換会報告

松尾貴司(58回生)

2025年9月6日(土)、2年毎に開催している学友会長崎・佐賀支部総会が、諫早市のJCHO諫早総合病院 大会議室で開催されました。両県から会員19名、大学から玉木長良学長、森 俊博総務課課長、学友会本部から黒田大悟副会長にご出席を賜り、22名での支部総会は、学術講演会、支部総会、情報交換会で構成し、松尾俊哉氏(短14回生)の司会進行のもと、まず学術講演1として氏原健吾新支部長(54回生)の『SONIALVISION G4 LX editionの有用性について』と題しての講演に始まり、次に本会をサポートしていただいた島津製作所を代表して、九州支店営業課エリアマネージャーの巳波 学氏よりご挨拶と近況をご報告いただきました。学術講演2では、島津製作所グローバルマーケティング部の田中修二氏より『我が国での重要な歴史 村岡先生と島津製作所 新しい一般撮影装置』と題してご講演いただきました。島津製作所の歴史やX線装置の市販時期の裏話など、田中氏の話術に引き込まれてしまいアツという間の60分間でした。

休憩をはさみ支部総会では、氏原新支部長による挨拶と過去の支部総会の思い出をスライドで振り返り、次に玉木学長、森課長、黒田副会長より大学と学友会の近況や将来の展望についてご報告いただきました。玉木学長の『当校は、専門学校の意味を持つCollegeではなく、京都大学とは異なる University であるべきなので、英語表記を Kyoto University of Medical Science へ改称しました。』のご説明に、母校の新たなビジョンを垣間見ることができました。その後、令和5年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された若松佳司氏(45回生:写真1)と今まで支部会を牽引していただいた今泉美治前支部長(43回生:写真2)を称えて記念品の授与を行いました。これにて支部総会は閉会となり、本日のメインイベントである情報交換会会場の諫早駅側“L & L ホテル センリュウ”に移動し、地元諫早市在住の入江博文氏(45回生)の乾杯で開会となり、歓談の時機を見て出席者の近況報告が始まり、締め括りは上五島から出席していただいた若松氏の万歳三唱で盛会裏に終了しました。

長崎・佐賀支部総会開催においては、離島や交通インフラなどのネックがあるなか、諸先輩方の出席に支えられてきましたが、今回は、他府県へ転居となった会員や卒業後1年目の若手会員が駆けつけてくれたので、この笑顔が今後の長崎・佐賀支部を盛り上げくれるものと確信した日となりました。



写真1



写真2

最後になりましたが、今回ご出席いただいた皆様、楽しい時間をありがとうございました。また、都合で出席できなかつた方々とは、2年後にお会いできることを楽しみにしております。支部総会開催のお世話をいただいた島津製作所の皆様に深く感謝申し上げます。

以上